

## 2 経管栄養関係の事例 ～チューブの接続について～

### 発生時の状況と経過

登校時、胃ろう部から栄養剤の漏れがあり、服が汚れてしまっていた。着替えをする際、胃ろう部と腸ろう部のチューブを抜き、付け直すときに逆に付けてしまった。注入時に気付くまで、20分程そのまま過ごした。

### 発生時の対応と処置

正しい位置にチューブを付け直した。注入をする前だったため、身体状況に異常はなかった。

### 考えられる原因や背景

着替え後、チューブを付け直す際、生徒の体位が看護師側に向いておらず、チューブの接続部も表裏が反対を向いていた。保護者と看護師と一緒に付けたが、お互いに話をしながら行ったため、接続部分の表示の確認不足が原因だと考えられる。



### 再発防止に向けた対策・改善点

- ・医療的ケア実施時は、ケア内容を声に出し、指差し確認をする。
- ・二人で確認するなど、ダブルチェックする。

### ポイント！

- 医療的ケアの行為とその内容は、声に出しながら、二人で確認することを基本とする。
- すべての操作はダブルチェックを基本にしましょう。
- 保護者がいてもダブルチェックは職員間でしましょう。